

豊田中央図書館だより

# よもよも

vol.70  
2026 7

ここは、  
可能性を見つける場所

なつ すいき  
夏 帥琦さん

デザイン会社を退職し、結婚を機に上海から豊田市へ移住。現在は地域のまちづくり活動をサポートするデザイナーとして活動。趣味はイラストを描くことと読書。

夏さんの好きな本  
『外国人のための基本語用例辞典』  
文化庁(編) 大蔵省印刷局  
814.3//

わたしと、図書館

あなたにとって豊田中央図書館はどんな場所ですか？  
利用者さんに、図書館のお気に入りスポットで話を聞きました

「挑戦することが大好き！新しい文化や人と出会うのも好き」  
新しい環境に飛び込むことを笑顔で楽しむ夏さんは、昨年末に上海から豊田市に移住した。見知らぬ土地で外出先も限られていた頃の様子をこう振り返る。

「日本に来たばかりの頃は、仕事も友達もなく、家以外に居場所がなかった。カフェに行っても、本を読んだりパソコンを触ったり、ずっといいのかわからなくて、緊張感があった。でもここは、誰の目も気にせず自由に過ごせる空間だから安心して過ごせた」

一日中気兼ねなく過ごせて、日本の生活文化を学べる図書館は、新生活の大きな助けになったという。展示コーナーの本との出会いを作る工夫にもすごく感動したそうだ。そんな夏さんは、ここで『外国人のための基本語用例辞典』を使って日本語学習に励んでいた。

「やさしい説明が書いてあるから、すごく使いやすい。日本語を勉強しているとき、ずっと使っていた。いろんな外国語の辞書が、図書館の入口に近い一番いい場所にはいるのはすごい」

就職を機に、図書館で過ごす時間は短くなったという夏さん。一方で、仕事に関する本を読む機会は以前より増えたという。夏さんにとって図書館とはどんな場所か聞いてみた。

「いろんな可能性を見つける場所。とても安心できる場所。悩んでいることがあったら、ここで考えて気持ちを整理してもいいし、次にやることを考えてもいい。もし何かやりたいことがあれば、ここで知識や情報をもらえるから、成長のパートナーみたいな。図書館にめっちゃ支えられました。『よもよも』で図書館に対する感謝の気持ちを伝えられた。毎日守ってくれて、ありがとうございます」

# 矢作川のふしぎ

知ってもっと好きになる！とよたの森と川

7/4 (土) 10:15~12:15  
6階多目的ホール

講師 山本 大輔 氏(豊田市矢作川研究所)  
定員 30人 講座当日まで受付  
対象 小学3年生~中学生  
申込み 4階総合案内、電話、HPIにて受付



▲ ふるさと川のつくりに取り組むこどもたち



## 矢作川とは？

長野、岐阜、愛知の3県を流れ、三河湾に注ぐ中規模の一級河川。幹線流路延長は118km、流域面積は1,830km<sup>2</sup>。農業・工業・生活用水の供給や発電など、人の暮らしに欠かせない役割を担っている。

参照：矢作川研究所概要 <https://www.yahagigawa.jp/about/>

# まちの身近な自然のハナシ

## 豊田市矢作川研究所

### 研究員・山本さんインタビュー

7月に矢作川を通して地域の自然について学ぶ講座を開催します。これを記念して、今月は「矢作川」を大特集！矢作川にはどんな生き物がいるの？矢作川研究所の仕事とは？研究員の山本大輔さんにお話をうかがいました。



山本大輔さん

豊田市矢作川研究所、担当長兼研究員。専門は魚類。こどもの頃釣りにハマったことがきっかけで、魚を研究する道へ。

## いのちきらめく矢作川

7月に矢作川で見られる生き物について教えてください。

山本 山から海まで流れる矢作川には、回遊魚がたくさん泳いでいます。その中でも矢作川といえばアユですね！秋から冬にかけて川の中下流域で生まれたアユの稚魚は一度海まで流れ下りますが、春先になると川を上ってきます。矢作川では毎年100万匹以上のアユが豊田市の市街地まで上ってきているんですよ。秋になると産卵のために川を下っていくので、夏はちょうど矢作川でアユを見る絶好の季節です。アユはほかのアユが来ると攻撃をすくすく、縄張り意識が強い魚です。その習性を利用した「友釣り」という釣り方が昔から盛んに行われています。

珍しい生き物はいませんか？

山本 矢作川の支流で、国の天然記念物に指定されている「ネコギキ」というナマズの仲間を見かけたことがあります。この魚は三河湾と伊勢湾に注ぎ込む川にしかいません。とても小さくて本当に可愛い魚です。ほかには特定外来生物のアメリカナマズがいます。以前、矢作川での生息状況について調査したことがありますが、捕れる数が少なく、実態解明に苦労しました。

## みんなであつなぐふるさと川の川



「ふるさと川のつくり事業」について詳しく教えてください。

山本 豊田市内の小川は、草が生い茂っているか、何にもない水路のようになっている場所が大半です。流れてきた砂が堆積し、そこに草が生え、その草に遮られてさらに砂が溜まるという循環が起きているためです。これでは大雨の際に川が溢れる危険性があるため、土砂を取り除くメンテナンスが必要です。しかし、これまで草が生い茂っていた場所から急に土砂を取り除いてしまうと、生き物たちの生息環境が一瞬で激変してしまいます。そこで、生き物にとって良い環境をできるだけ長く保つための取り組みを行っています。地域の方に草刈りをしてもらったり、川の中の石をうまく配置して水の流れを変えたりすることで、土砂が溜まりすぎないようにするのです。とはいえ、突然草刈りをお願いしても、なかなか難しいのが現実です。そのため、わたしたちはまず地域の方とのワークショップから始めています。高齢の方から昔川で遊んだ思い出を語ってもらったり、若い世代にも川への関心が広がっていきいます。そこから「川を今後どうしていきたいか」を話し合っ計画を立て、地域の方と共に川づくりに進めています。

この事業はおよそ5、6年かけて進めます。わたしたちの目標は、事業が終了するまでに、地域の方が自立して活動を継続できるようにすることです。現在、2つの川での事業が終了し、それぞれの地域で活動が継続されています。川づくりは「つくって終わり」ではなく、そこからが始まりです。

## 川の「今」を見守る研究所のしごと

矢作川研究所はどんな施設ですか？

山本 矢作川の自然環境や人と川の関わりについて調査・研究をしている施設です。現在は主に、悪化してしまっただけの環境改善の研究に力を入れているほか、矢作川周辺の環境保全に携わる地域の方の活動サポートもしています。さらに、ここ10年ほどは地域住民の方と一緒に地域の小川の自然を再生する取り組みも行っています。

川底の環境はなぜ悪化したのですか？

山本 矢作川には河口から34.5〜80.0kmの範囲に7つものダムがあります。ダムによってわたしたちは多くの恩恵を受けていますが、そこに棲む生き物たちの生息環境は変わってしまいました。元々、川底にはさまざまな石や砂がありましたが、ダムができたことで水や土砂の流れ方が変わり、川底に変化が起きて、これまで生息していたアユなどの生き物たちが棲みにくくなってしまうました。こうした川底の環境が良くなるか、調査しているところです。



▲ 矢作川を調査する研究員たち



▲ 川を遡上するアユの群れ

7月の講座について教えてください。

山本 講座では、「なぜ自然を大事にしなければならぬのか」を考えたいと思います。森も川も人間が手を入れてきた歴史があります。一度人が手を加えた自然は、手を加え続けなければ保つことができません。自然を守ることと利用することのバランスの大切さについてお話しします。

最後にメッセージをお願いします！

山本 矢作川や家の近所を流れている川に、少し目を向けてみてください。橋を渡る時に川をのぞく、「今日はなんかちょっと違うな」とか「鳥が来てたな」とか、それぐらいいいと思います。今は昔と比べて、川は身近な場所ではなくなくなってしまいました。だからこそ普段の暮らしの中で少しでも気にかけることが川を守ることに繋がっていくと思っています。

## 図書館スタッフのわたしの好きな本

『大どろぼうホッツェンプロッツ』

オトフリート・プロイスラー / 作 トリップ / 絵  
中村 浩三 / 訳 偕成社 K943/7/0



スタッフ 立松  
好きなものは  
真夏のビールとプロ野球

### 図書館員になったわたしの原点

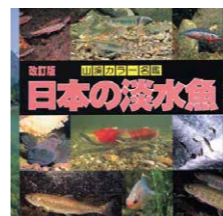
わたしの本好きを決定付けた一冊。小3のとき、担任のM先生が国語の時間とは別に読み聞かせてくれた本です。クラスの皆が先生の『お話の時間』を心待ちにし、どこか憎めない大泥棒と親友のこども2人組の繰り広げる物語に引き込まれていきました。母にねだって買ってもらうから半世紀持ち続けた大好きな一冊に出会わせて下さったM先生に「ぼくは今、図書館で働いているんですよ」とお伝えできたらなあ。続編2冊もおすすめです。

## 参加者募集 ワークショップ みんなで考えるこどものためのこれからの図書館



こどもたちにとっての「理想の図書館」とは？  
「こんな図書館だったらいいな」をみんなで一緒に考えるワークショップです。ぜひお気軽にご参加ください。

日時 8月9日(日)10:30~12:00  
場所 6階多目的ホール 定員 先着40人  
対象 小学生以下の子を持つ保護者  
ことよ同伴可、会場内に託児あり(要予約)  
申込み 7月5日(日)から申込みフォームにて受付  
問合せ 図書館管理課 ☎32-7970  
library-kanri@city.toyota.aichi.jp



『日本の淡水魚 (山溪カラー名鑑)』

川那部浩哉、水野信彦、細谷和海 / 編・監修  
桜井淳史 / ほか写真  
山と溪谷社 487.5/7/0

山本さんおすすめの淡水魚図鑑。新種や新たに定着が確認された外来種などが追加された2025年発行の最新版『日本の淡水魚 (山溪ハンディ図鑑)』第4版もある。



『楽しい川辺』

ケネス・グレーム / 作  
ロバート・イングベン / 絵  
杉田七重 / 訳 西村書店  
K933/7/1

春の大掃除に嫌気がさして外に飛び出したモグラは、偶然出会った川ネズミと共に初めての川下りへいざ出発！イギリスの田園に暮らす動物たちの冒険を描いたファンタジー。



『川がつくった川、人がつくった川』

わたしたちにとって川とは何か？

大熊孝 / 著  
農山漁村文化協会  
J517/7/1

「川とはなにか？」を専門用語はできるだけ使わずにやさしく解説した本。水害を軽減する方法や美しい川を保ち、育てる方法など、川とともにある未来を考える一冊です。



『かわはながれるかわはこぶ 川のはなし』

かこさとし / 絵と文  
農山漁村文化協会  
科学知識E/カ/1

山に降った雨は、やがて岩を削り、石を転がし、土を流し、うねりながら流れていく…川の始まりから終わりまでを描いた科学絵本。世界と日本の長い川の情報も掲載。

## よもよも×川辺の小さな旅

中央図書館3階にて特集展示開催中  
オススメ本をピックアップ紹介

## 7月の展示

※展示期間の詳細は図書館までお問い合わせください。

### 3階

やってみよう!調べる・伝える学習

よもよも×川辺の小さな旅

第175回 芥川賞・直木賞

「アンドリュー・ワイエス展」関連

資料展示(豊田市美術館連携)

トヨタで働く人が選ぶ!わたしの人生の本棚

(トヨタ博物館クルマの図書館連携)

本を読んで新しいことに挑戦しよう!  
～音楽編～

【ティーンズ】 ライトノベル特集

【ティーンズ】 #Teens Voice

### 4階

養老孟司と小椋山賢二の虫展  
(豊田市博物館連携)

【児童】 課題図書

### 【自動車】

だいしゅうごう!はたらくクルマ

### 5階

おうち時間で何してみる?

【映画】 黒牢城

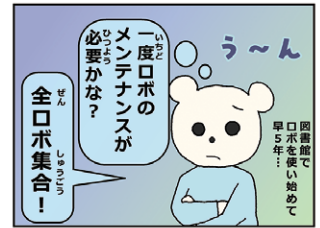
(イオンシネマ豊田 KITARA連携)

【企画展示】

国道155号豊田南バイパスの事業PR

(豊田市幹線道路推進課主催)

## よみりん・かたるん 4コマ劇場



## 7月の図書館カレンダー

|                           |
|---------------------------|
| 1 水                       |
| 2 木                       |
| 3 金                       |
| 4 土 【講座】矢作川のふしぎ           |
| 5 日                       |
| 6 月 休館日                   |
| 7 火                       |
| 8 水 赤ちゃんのための絵本講座(0歳児)     |
| 9 木 赤ちゃんのための絵本講座(1歳児)     |
| 10 金                      |
| 11 土 【講座】ペットと生きる防災教室      |
| 12 日                      |
| 13 月 休館日                  |
| 14 火                      |
| 15 水 庄野アナウンサーと音読で心と体をスッキリ |

|   |
|---|
| 16 木  |
| 17 金  |
| 18 土 はじめての読書感想文書き方教室(若園・中央)                 |
| 19 日 【講座】親子ではじめるわくわく調べ学習                    |
| 20 月 【講座】なぜからはじめるドキドキ調べ学習                   |
| 21 火 【講座】じゃこ調査隊                             |
| 22 水 【講座】最強手洗い術とラムネ菓子作り                     |
| 23 木  |
| 24 金  |
| 25 土 はじめての読書感想文書き方教室(藤岡)<br>夏休みおはなし会(8/9まで) |
| 26 日  |
| 27 月 【講座】屏風から探る!豊臣兄弟の世界                     |
| 28 火  |
| 29 水  |
| 30 木  |
| 31 金  |

夏休み期間中(7/18~8/31)  
中央図書館は月曜日も特別に開館します

## PICK UP 中央図書館イベント情報

7/19(日) 15分で行ける  
~21(火) わくわく夏の工作会  
13:00~14:30

15分で完成するかんたんで楽しい工作会です。7月は「紙コップワニ」と「戻り車」の中からひとつを作ります

場所 4階児童コーナー  
対象 小学生以下(未就学児は保護者同伴)  
定員 各日先着32人  
申込み 当日、13:00から児童コーナーにて受付

8/4、18、25(火) 手作り絵本  
講座  
①10:15~12:15  
②13:00~15:00

参加者が考えたオリジナルストーリーの絵本の装丁を行います。完成した絵本はとよた手作り絵本展に出品します

場所 6階多目的ホール 定員 各回抽選15人  
対象 全日程参加できる小学生以上  
材料費 1,000円  
申込み 7月24日(金)までに、中央図書館4階総合案内  
電話、HPIにて受付 ※当選者のみ7月28日(火)までに連絡

7/27(月) 屏風から探る!  
14:00~16:00 豊臣兄弟の世界

長篠・長久手合戦図屏風のレプリカを見ながら、描かれた場面の背景や、武将たちの細部を深く読み解く講座です

場所 6階多目的ホール 定員 抽選20人  
対象 小学5年生~中学生  
講師 中島 学 氏(豊田市博物館)  
申込み 7月16日(木)までに、中央図書館4階総合案内  
HPIにて受付 ※当選者のみ7月20日(月)までに連絡

8/8(土) 取材のコツ、聞いてちょう  
10:15~12:15 見て!聞いて!発信!新聞ラボ

元新聞記者から取材のコツを学び、図書館の魅力やヒミツを紹介する記事作りに挑戦する講座です

場所 6階多目的ホール 定員 先着12人  
対象 小学3年生~中学生  
講師 中村 公治 氏 ほか2人(中日新聞社 NIE事務局)  
申込み 7月5日(日)10:00から、中央図書館4階総合案内  
HPIにて受付

# よもよも

豊田中央図書館だより vol.70  
2026年7月1日発行

〒471-0025 豊田市西町1-200 豊田参合館内 TEL 0565-32-0717  
休館日 月曜日(祝日、夏休み期間は開館)、年末年始(12月28日~1月4日)  
特別整理休館日(12月1日~4日) 開館時間 10:00~20:00

豊田中央図書館は、指定管理者株式会社図書館流通センター・ホームックス株式会社共同企業体が管理・運営を行っています。

中央図書館 HP  
図書の検索・予約  
利用案内はこちら

